SystemGear

Laser Barcode Reader

PDC-1040

操作ガイド

レーザー バーコード リーダ

はじめに

このたびはレーザーバーコードリーダをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この「操作ガイド」は、レーザーバーコードリーダの取り扱い方法、接続方法および操作方法について説明しています。
ご使用の前にこの「操作ガイド」をよくお読みいただき、バーコードリーダを正しく、効果的にご活用ください。なお、この「操作ガイド」は必ず所定の場所に保管するようにしてください。

安全上のご注意

レーザーバーコードリーダを 安全にお使いいただくために必ずお守りください

■ご使用の前に、この操作ガイドの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

■お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告・注意表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために守っていただきたい事項を示しています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

記号の意味

△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを示しています。

⃠ 記号は禁止（してはいけないこと）であることを示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は必ずしてほしい内容を示しています。

⚠ 警告

重要：システム設計者へ

● 薬品の管理等、人命に影響を与える可能性があるシステムでは、データが誤った場合でも人命に影響を与える可能性が無いよう、冗長設計、安全設計には十分ご注意ください。

⚠ 警告

● レーザービームをのぞきこまないでください。
長時間直視すると、レーザー光によって目に傷害が起こるおそれがあります。

● コネクタの端子へ金属などを接触させないでください。
大電流が流れて発熱・発火したり、機器を破損したりする原因となります。

● 引火性ガスが発生する場所で使用しないでください。
発火事故などの原因となります。

● バーコードリーダの読み取り窓を長時間直接太陽に向けないでください。
機器が破損し火災の原因となることがあります。

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常事態が生じた場合は、すぐにホスト側の電源スイッチを切り、インターフェースケーブルのコネクタを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、インターフェースケーブルのコネクタを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一、機器を落としたりして動作しなくなったり、ケースが破損した場合は、ホスト側の電源スイッチを切り、インターフェースケーブルのコネクタを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

分解禁止

● 機器を分解・改造しないでください。
火災・感電などの原因となることがあります。

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたりして、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など非常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
ケースや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

● 湿気の多い場所・急激な温度変化のあるところで使用しないでください。
水分が入り、故障・火災・感電の原因となることがあります。

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

● 機器は布や蒲団でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。
風通しのよい状態でご使用ください。

● 機器の開口部（通風穴、読み取り窓など）から内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電などの原因となることがあります。

● バーコードリーダやインターフェースケーブルを傷つけたり、加工したり、またはインターフェースケーブルを加熱したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。バーコードリーダやインターフェースケーブルが破損して、火災の原因となることがあります。

● バーコードリーダやインターフェースケーブルの上に重いものをのせたり、重いものの下敷きにならないようにしてください。

● ぬれた手で使用しないでください。
感電の原因となることがあります。

● ベンジン、シンナーなどの化学薬品や洗剤で拭いたり、殺虫剤をかけないでください。
ひび割れ、感電、引火の原因となることがあります。

● 可塑材入りのすべり止め付き手袋をはめて使用しないでください。
ケースが破損し、けが、感電、引火の原因となることがあります。

● インターフェースケーブルが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換を依頼してください。
そのまま使用すると火災の原因となることがあります。

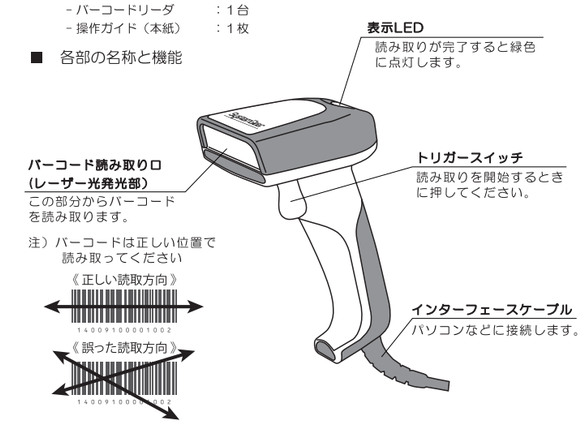
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

構成品の確認および各部の名称と機能

■ 構成品の確認

以下のものが含まれています。
- バーコードリーダ　：１台
- 操作ガイド（本紙）　：１枚

■ 各部の名称と機能



■ 操作手順

(1) バーコードリーダの読み取り口とバーコードを合わせます。
(2) トリガースイッチを押します。
(3) 読み取りが正常に完了すると表示LEDが緑色に点灯しブザーが鳴動します。

読み取り上の注意
- バーコードはできるだけ平らにしてください。
- 直射日光のもとや、非常に明るい場所では読み取りできない場合があります。
- バーコードは左右逆向きにしても読み取りできます。
- ビニル袋に入っているバーコードは、読み取りできない場合があります。その場合は袋から取り出して読み取りしてください。
- 連続読み取りモードに設定している時に、同一バーコードを2回以上続けて読み取る場合は、約1秒間バーコードリーダの読み取り口を一旦読み取ったバーコードから十分離し、表示LEDが消灯してから次のバーコードを読ませてください。

接続方法（USBインターフェース）

このバーコードリーダはUSBキーボードインターフェースでパソコンと通信できます。
USBキーボードインターフェースで通信するには、USBクラスドライバ「HID（ヒューマンインターフェースデバイス）」を使用します。このドライバはWindows OSのシステムファイルに組み込まれており、インストール操作は不要です。
バーコードリーダのインターフェースケーブルをパソコンのUSBポートに接続してください。
バーコードリーダは、Windows XP、Windows Vista、Windows 7（いずれも 32ビット日本語版）に対応しています。
詳細について“PDC-1000シリーズ ユーザーズマニュアル”をご覧ください。
“PDC-1000シリーズ ユーザーズマニュアル”は弊社ホームページからダウンロードできます。

注意
- パソコンのUSB機器の認識および削除に数秒から10秒程度かかる場合がありますので、USBコネクタの挿抜は10秒以上の間隔をあけて行ってください。
- パソコンの電源がONの状態でもUSBコネクタの挿抜は可能です。ただし、パソコンがスタンバイ（サスペンド）中には、USBコネクタの挿抜は行わないでください。
- バーコードリーダの接続処理中に他のUSB機器の着脱を行わないでください。
- パソコンへの接続は、USBハブを使用せず、直接パソコンに接続してください。

バーコードリーダの設定

このバーコードリーダは、以下の方法で、バーコード種類などを設定することができます。
設定はバーコードリーダの電源をOFFしても保持されます。

バーコードリーダ設定用のバーコードを読み取らせて設定します。
- 本紙のバーコードリーダ設定メニューを使って、基本的な設定が行えます。
- “PDC-1000シリーズ ユーザーズマニュアル”の設定バーコードを使って、詳細な設定が行えます。“PDC-1000シリーズ ユーザーズマニュアル”は弊社ホームページからダウンロードできます。

「全デフォルト」を設定すると、バーコードリーダの設定がデフォルトになります。
デフォルトはバーコードリーダ設定メニューに ★ で示します。

仕　様

項　目		仕　様
読み取り部	読み取りコード	JAN/EAN-13，JAN/EAN-8，UPC-A，UPC-E，CODE-39，CODE-93，CODE-128，EAN-128，CODABAR(NW-7)，Interleaved 2of5，Industrial 2of5，RSS-14(GS1 DataBar Omnidirectional)，RSS Limited(GS1 DataBar Limited)，RSS Expanded(GS1 DataBar Expanded)
	読取方式	可視半導体レーザー(650nm)
	最小分解能	0.1㎜ (PCS=90%)
	読み取り確認	緑色LED，ブザー
環境条件	使用温度範囲	0～45℃
	使用湿度範囲	20～80%RH（非結露）
外形寸法（W）×（L）×（H）		69㎜（W）× 160㎜（L）× 88㎜（H）
重量		約200ｇ（インターフェースケーブル含む）
インターフェース		USB
入力電源	使用電源電圧	接続先より供給　DC5V±５%

お問合わせ

日本システム開発株式会社
技術的なお問い合わせは　support@nsd-inc.co.jp　（サポートデスク）
最新情報は　http://www.systemgear.com（弊社ホームページ）

- 本紙記載製品の販売・生産・保守について、予告・通知なく中止する事があります。
  詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.systemgear.co.jp/support/stop/index.html
- 製品の仕様、規格及び外観は、改良の為、予告なく変更する事があります。
- 印刷の関係上、本操作ガイドに使用した写真及び画面は、色や細部等が実際と異なる場合がありますのでご了承ください。
- 保守対応期間は、弊社販売中止から基本５年間ですが、諸事情により異なる場合があります。
- 弊社の保守サービスを受けるには、ユーザー登録が必要です。
- ユーザー登録は、下記ホームページから登録してください。
  https://www.systemgear.com/support/regist/web_form.html
- PDC-1000シリーズ ユーザーズマニュアルは下記ホームページからダウンロードするか、お買い上げの販売店、弊社営業までお問合せください。
  http://www.systemgear.co.jp/support/dl_manual/dlm_top.html

本紙の内容に関しては、将来仕様改良などにより予告無しに変更することがあります。
WindowsおよびWindows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。その他の会社名や製品は、一般に各社の商標または登録商標です。

保証規定

この規定は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。
1.この製品は当社の厳密な製品検査に合格したものです。
2.本書に従って正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合はお買上げの販売店または、保証書に記載の送り先まで修理品と共にお送りください。無償修理させていただきます。
3.保証範囲は本体および付属機器に限らせていただきます（ケーブルは、保証範囲外となります）。
4.保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
(ア)保証書にご購入日の記載がない場合
(イ)お客様による輸送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合
(ウ)火災、地震、落雷、風水害、その他天変地変、または、異常電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合
(エ)本製品に異常がなく、他の機器に起因して本製品に故障が生じた場合
(オ)当社以外で修理、調整、改造され、それが原因となり故障した場合
5.この規定は、日本国内においてのみ有効です。また、海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

保　証　書

故障の場合は必ず、この保証書を添えてご依頼ください（本書をコピーしてお使いください）。
この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、この保証書に記載された期間・条件のもとにおいて修理をいたします。

製品名	PDC-1040-　－	シリアル№.	
	シリアル番号はバーコードリーダ本体裏の号機シールに記載されている６桁を記入してください。		

会社名	
お名前	フリガナ
ご住所	〒 TEL:（　　）　　－
保証期間	弊社出荷日より2年 ご購入日を記入してください。　　年　　月　　日 ユーザー登録して頂きましたら、ご購入日より2年とさせていただきます。

送り先：〒665-0045　宝塚市光明町30-12　株式会社システムギアダイレクト　故障担当宛
TEL 0797-74-3575　FAX 0797-74-2212

レーザーバーコードリーダ　PDC-1040 操作ガイド
日本システム開発株式会社
2011年11月　第9版
BK0084A01-9

バーコードリーダ設定メニュー

■ 全デフォルト

全デフォルト

バーコード名称の後の ★ マークがデフォルトであることを示します。

■ 読み取りモード設定

〈トリガーモード〉★

・トリガースイッチを押すと、照明光が点灯して読み取り可能となります。
・トリガースイッチを離すと消灯し待機状態となります。

トグルモード

・トリガースイッチを押すと、照明光が連続点灯して読み取り可能となります。
・正常に読み取り完了した時に消灯し待機状態となります。

フラッシュモード

・照明光が連続点灯し読み取り可能となり、60秒間バーコードを認識しない場合、照明光が点滅します。
・トリガースイッチは使用しません。

オートオフモード

・トリガースイッチを押すと照明光が連続点灯し読み取り可能状態となり、60秒間バーコードを認識しない場合、消灯し待機状態となります。

連続読み取りモード

・照明光が連続点灯し読み取り可能となります。
・トリガースイッチは使用しません。

オートセンシングモード

・型式：PDC-1040-100-UMのみ対応。
・専用の置き台が必要になります。

■ 設定バーコード有効/無効設定

〈設定バーコード有効〉★

・設定バーコードを読み取ったとき、バーコードリーダに設定を行います。
パソコンにデータは出力されません。

・設定バーコードを読み取ったとき、パソコンにデータとして出力されます。

設定バーコード無効

■ キーボードエミュレーションの指定

□ キーボードタイプ設定【国別設定】
使用するキーボードタイプを設定してください。

〈日本語(106 Keyboard)〉★

U.S.English(101 Keyboard)

□ Caps Lockの状態
パソコンのキーボードの「 Caps Lock 」に合わせてください。

Caps Lock ON

〈Caps Lock OFF〉★

□ 読み取りデータ出力間隔時間
読み取ったバーコードデータを出力するキャラクタ間のディレイ時間の設定です。

〈読取データ出力間隔 140μS〉★

読取データ出力間隔 1mS

読取データ出力間隔 16mS

読取データ出力間隔 500μS

読取データ出力間隔 4mS

□ 数字キー選択
数字データ（ “0” ～ “9” ）の転送フォーマットを選択できます。
テン・キーを選択する場合、パソコンの NUM LOCK を ON に設定してください。

〈インボード・キー〉★

テン・キー

■ バーコードデータの編集の指定

□ 後頭付加コード（ターミネータ）

〈Enter〉★

TAB

なし

ESC

SPACE

■バーコード照合回数

□ 誤読が発生するようであれば、本設定を行ってください。
設定手順：
「バーコード照合回数設定」→「回数」→「バーコード照合回数設定」

バーコード照合回数設定

2

1

■ バーコード読み取りの指定

□ JAN/EAN-13の読み取り

〈JAN/EAN-13読み取り許可〉★

JAN/EAN-13読み取り禁止

□ JAN/EAN-8の読み取り

〈JAN/EAN-8読み取り許可〉★

JAN/EAN-8読み取り禁止

□ UPC-Aの読み取り

〈UPC-A読み取り許可〉★

UPC-A読み取り禁止

□ UPC-Eの読み取り

〈UPC-E読み取り許可〉★

UPC-E読み取り禁止

□ CODE-39の読み取り

〈CODE-39読み取り許可〉★

CODE-39読み取り禁止

□ CODE-93の読み取り

CODE-93読み取り許可

〈CODE-93読み取り禁止〉★

□ CODE-128の読み取り

〈CODE-128読み取り許可〉★

CODE-128読み取り禁止

□ EAN-128の変換有効/無効（EAN-128 ⇔ CODE-128）

〈CODE-128のEAN-128変換有効〉★

CODE-128のEAN-128変換無効

□ CODABAR(NW-7)の読み取り

〈CODABAR読み取り許可〉★

CODABAR読み取り禁止

□ Interleaved 2 of 5 の読み取り

〈Interleaved 2 of 5 読み取り許可〉★

Interleaved 2 of 5 読み取り禁止

□ Industrial 2 of 5 の読み取り

Industrial 2 of 5 読み取り許可

〈Industrial 2 of 5 読み取り禁止〉★

□ RSS-14(GS1 DataBar Omnidirectional)の読み取り

RSS-14読み取り許可

〈RSS-14読み取り禁止〉★

□ RSS Limited(GS1 DataBar Limited)の読み取り

RSS Limited読み取り許可

〈RSS Limited読み取り禁止〉★

□ RSS Expanded(GS1 DataBar Expanded)の読み取り

RSS Expanded読み取り許可

〈RSS Expanded読み取り禁止〉★

■ バーコードサンプルラベル

□ JAN-13
4 901567 014010

□ UPC-A
0 47669 13716 6

□ CODE-39
＊1 2 3 A B C 3 9＊

□ CODE-128
1 2 3 A B C a b c 1 2 8

□ CODABAR(NW-7)
A 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A

□ Industrial 2 of 5
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

□ JAN-8
4901 5676

□ UPC-E
0 490690 6

□ CODE-93
1 2 3 A B C a b c 9 3

□ EAN-128
A B C D E 1 2 8

□ Interleaved 2 of 5
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

□ RSS-14
(GS1 DataBar Omnidirectional)
0123456789012344

□ RSS Expanded
(GS1 DataBar Expanded)
1 2 3 4 5 6 7 8

□ RSS Limited
(GS1 DataBar Limited)
0101234567890128

レーザーバーコードリーダ　PDC-1040 操作ガイド
日本システム開発株式会社
2011年11月　第9版
BK0084A01-9